

南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

生活目標

『しっかり聞き、

はっきり話そう』

平成24年10月30日

第8号

川越市立高階南小学校

あこがれの6年生！

～体育館に響く豊かな歌声と心を合わせた合奏～

10月26日(金)の校内音楽会、それに続く27日(土)には、学校公開における音楽発表会を開催いたしました。特別支援学級花の子の演奏から始まり、1年生から6年生まで、全児童による発表が行われました。特に27日には、保護者、地域の方々にも大勢おいでいただき、大盛況のうちに演奏会を実施することができました。狭い場所での鑑賞でしたが、ご協力いただき心より感謝申し上げます。

子どもたちの感想を見ると「とっても緊張した」「楽しくできた」というものに混じって、「来年は、6年生のように難しい曲にチャレンジしたい。」「6年生がすごく格好良かった。」等、最上級生を讃えるものが数多く見られました。学校の中心になって活躍する6年生が、下級生のあこがれの的になっていることを大変誇らしく、そして、頼もしく感じました。

【音楽の力】

「言葉や思いをメロディーに載せて聴く人の心に届ける」シンプルですが大変難しいことです。今回の演奏会の子どもたちの歌が、多くの人々の心を打ったのは、このことができていたからに他ならないと思います。また、緊張感みなぎるステージで、一生懸命に楽器を演奏をするひたむきな姿は、聴く人の心に感動を届けてくれたに違いありません。

5年生合唱曲「月の見えない夜は」より(貴輪久美子 詞)

月の見えない夜は 自分で照らそう
終わるはずのない 明日へ続く道を～

6年生合唱曲「やさしい風」より(萩原あゆみ 詞)

大丈夫だよって風が お話してくれる
希望と元気を連れてきて 優しい気持ちにしてくれる～

音楽会が終わった後も、たくさんの保護者の方、地域の方からお褒めの言葉をいただきました。「心が洗われました。」「聴いていて涙が溢れました。」「子どもたちの頑張る姿に本当に感動しました。」何かに真剣に取り組む姿はこれほどまでに人の心を動かすものなのですね。ご来場くださいました皆様、温かい拍手を本当にありがとうございました。耳を澄ませながら、優しいまなざしでステージを見守ってくださる聴き手と、仲間と共に心を合わせて演奏する子どもたちが作り上げた素敵な演奏会でした。

【誰だって最初は初心者 前向きにチャレンジする姿】

音楽が大好きで、歌や楽器の演奏が得意な児童がいます。人前で歌うことが得意でない児童や、楽器の演奏が苦手な児童もいます。今回の演奏会に向けて、子どもたちは、みんなで助け合い、一生懸命練習に励んでいました。授業中だけでなく、休み時間や昼休みにも、時には、放課後の校庭でも、友達と共に必死に練習している姿を見たときには胸が熱くなるのを感じました。行事を通して一步一步着実に成長してくれる子どもたち。その頑張る姿を見守りながら、これからも精一杯応援していきたいと思えます。

*HP(ホームページ)にも「南小だより」を掲載しております。なお、写真は一部加工しております。



6年生の合唱



花の子の演奏

